参考様式第５－２号

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	~~令和8年2月6日~~　令和8年11月　日 ~~（第1回）~~　（第2回）
目標年度	令和15年度
市町村名 （市町村コード）	伊万里市 41205
地域名 （地域内農業集落名）	大川地区 （宿、川西、構江、駒鳴西、駒鳴東、長野、川原、 立川、戸石川、山口、井手口、筒江、東田代）

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

１　地域における農業の将来の在り方

（１）　地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	~~324.1~~ 324.3 ha
①　農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	308.5 ha
②　田の面積	~~276.2~~ 276.5 ha
③　畑の面積（果樹、茶等を含む）	46.9 ha
④　区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	46.0 ha
⑤　区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注１：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
　２：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
　３：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
　４：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、
　　備考欄にその旨記載してください。
　５：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
　６：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

（２）　地域農業の現状及び課題

・本地区には13集落があり、市内での認定農業者が多い地域である。特に伊万里を代表する梨やブドウなどの果樹や畜産を営む農業者が多く、産地を形成している。また、裏作では麦を中心にした作付が多く、法人の認定農業者などの担い手への集約が進んでいる。若い農業者の多い地域であり、特にJAのきゅうり部会の若手組織である胡青会などの活動が活発である。
・地区内には認定農業者等の担い手を中心に観光農園を行っている。その一方で立川集落、駒鳴集落に梨園団地があるが、未利用農地の割合が多くなってきている。梨やブドウなどの果樹については新植の場合、未収益期間が長いため新規就農のハードルが高い。このため立川集落では梨園を守る会を組織し、JA梨部会と連携しながら新規就農者の確保に取り組んでいる。
・畜産については、法人のほか、親子での認定農業者も多い。肥育・繁殖ともに市内でも多い地域であり、若い世代ではスマート農業を活用した経営にも取り組んでいる。
・地区内の多くの集落が中山間地域等直接支払交付金制度や多面的機能支払交付金制度を活用した農地の維持管理を行っているが、構成員の高齢化から対象農地の減少してきている。

